

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor



ProLite C480T

重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みに
なり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI (電波障害自主規制)

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをして下さい。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードおよびACアダプタは付属のものを使用すること。

ENERGY STAR®


当社はENERGY STAR®プログラムの参加事業者として、本製品がENERGY STAR®プログラムの基準に適合していると判断します。

国外での使用禁止

本製品は、日本国内専用に製造、販売されています。日本国外ではご使用できません。

This monitor is designed for use in Japan only and can not be used in any other countries.

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店またはイヤマサポートセンターまでご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたしますので、お買い上げの販売店までご連絡ください。

愛情点検	長年ご使用のモニタの点検を！
	<p>ご使用の際 このようなことは ありませんか</p> <ul style="list-style-type: none">●電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。●キャビネットが異常に熱い。●煙が出たり、こげくさい臭いがある。●使用中に異常な音や振動などがある。●その他の異常や故障がある。
	<p>ご使用を中止してください</p> <p>故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。 点検・修理に要する費用などは販売店またはイヤマサービスセンターにご相談ください。</p>

もくじ

安全にご使用いただくために	1
ご使用の前に	6
特長	6
標準付属品	6
各部のなまえ	7
リモコンについて	9
基本の操作	11
スピーカーの取り付け	14
画面の角度調節	14
コンピュータとの接続	15
接続手順	15
コンピュータの設定	16
画面操作手順	17
調整メニューの内容	18
画面の調整	23
パワーマネージメント機能	25
その他の周辺機器との接続	26
AV機器(ビデオ・DVD・ゲーム機等)との接続	26
アンテナとの接続	27
調整メニューの内容	29
故障かなと思ったら	34
クリーニング	35
アフターサービス	36
保証書/保証期間について	36
修理サービス	36
オプション部品	36
リサイクル/廃棄について	36
付録	37
一般仕様	37
外形寸法図	38
対応信号タイミング	39
信号入力コネクタのピン配列	39

安全にご使用いただくために

ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

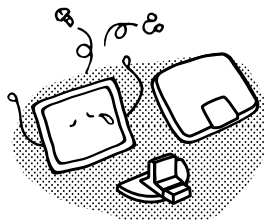
警告



プラグを
抜く

万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音がするなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。

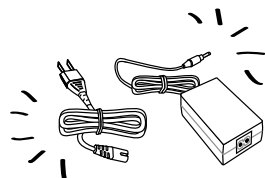


分解禁止

キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。

内部の点検や修理は販売店またはイーヤマサービスセンターにご依頼ください。



禁止

付属品以外の電源コードやACアダプタを使用しない

火災や故障の原因となります。



禁止

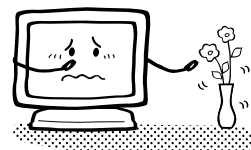
異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のご家庭ではご注意ください。

万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。



プラグを
抜く



禁止

花瓶やコップをモニタの近くに置かない

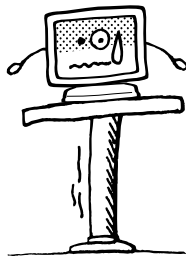
水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。

万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイーヤマサービスセンターにご連絡ください。



プラグを
抜く

警告



禁止

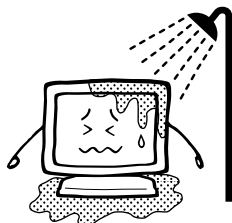
不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



プラグを
抜く

平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での
使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



禁止

電源コードやACアダプタを分解しない、傷つけない

電源コードやACアダプタを分解すると、火災や感電の原因となります。



電源コードやACアダプタの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。ACアダプタから出ているコードは、ACアダプタ本体に巻きつけたりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店またはイヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。

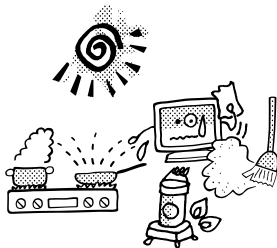


接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグやアンテナ線に触れない

感電の原因となります。

⚠ 注意

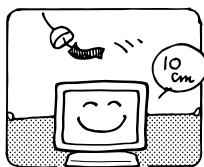


禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



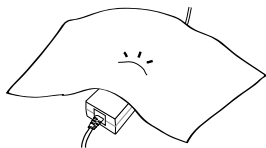
禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。



禁止

ACアダプタに布団や毛布などをかぶせない

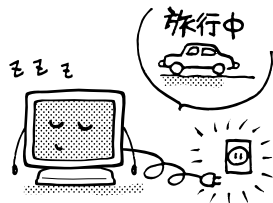
内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。



禁止

移動させるときは、外部の接続コードをはずす

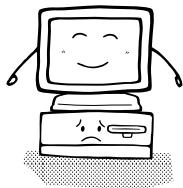
電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜き、電源コードをACアダプタからはずしてください。火災の原因となることがあります。

⚠ 注意



コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。



プラグを持って抜く

電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

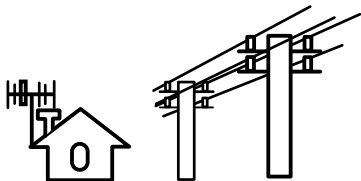
ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



スピーカーにフロッピーディスクを近づけない

スピーカーは磁気を発生するため、磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。



アンテナの設置は販売店にご相談ください

室外アンテナを取り付けるときは、電線と接触しないように電線から離れた場所に設置してください。アンテナが電線に接触すると、感電の原因となります。

また、突風や嵐が起こった場合でも、アンテナが倒れたり飛ばされたりしないように、しっかりと固定してください。アンテナの損傷・破損・故障の原因となります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約**40～60cm**はなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に**10分**程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合がありますが、故障ではありません。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがありますが、故障ではありません。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 液晶モニターは、表示する色や明るさにより微細な斑点およびむらが見えることがありますが、故障ではありません。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるもので、故障ではありません。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼き付きのような症状)が発生する可能性があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されます。
 - ・ 画面の表示パターンを変える。
 - ・ 数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。

ご使用前に

このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

特長

- ◆ 48センチ(19.0インチ) TFTカラー液晶モニター
- ◆ 最大1280×1024モードをサポート
- ◆ 超広視野角・高輝度液晶モジュール採用
- ◆ 画面を保護する低反射コーティングパネル付
- ◆ デジタルスムージング機能搭載
- ◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能搭載 ※1
- ◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B対応 ※1
Windows® 95/98/2000/Me/XP対応
- ◆ 低電磁波・省電力設計 - MPRⅢ準拠, パワーマネージメント機能搭載 ※1
- ◆ 鮮明な画像を実現するデジタル入力(DVI-I)対応 ※1
- ◆ 3次元Y/C分離回路によるちらつきの少ないテレビ画像 ※2
- ◆ 動き適応型I/P変換回路によるすっきりとした画像輪郭 ※2
- ◆ ピクチャー・イン・ピクチャー(PIP)機能搭載 ※1
- ◆ ケーブルテレビ対応高画質チューナー内蔵
- ◆ ゲームやビデオ編集に便利なビデオ入力端子
- ◆ デジタルハイビジョン機器接続を可能にするD4端子
- ◆ 高音質デジタルオーディオアンプ内蔵
- ◆ セパレートタイプ高音質ステレオスピーカー付属
- ◆ VESAマウント規格(100mm×100mm)対応

※1 PC入力時 ※2 チューナー/ビデオ入力時

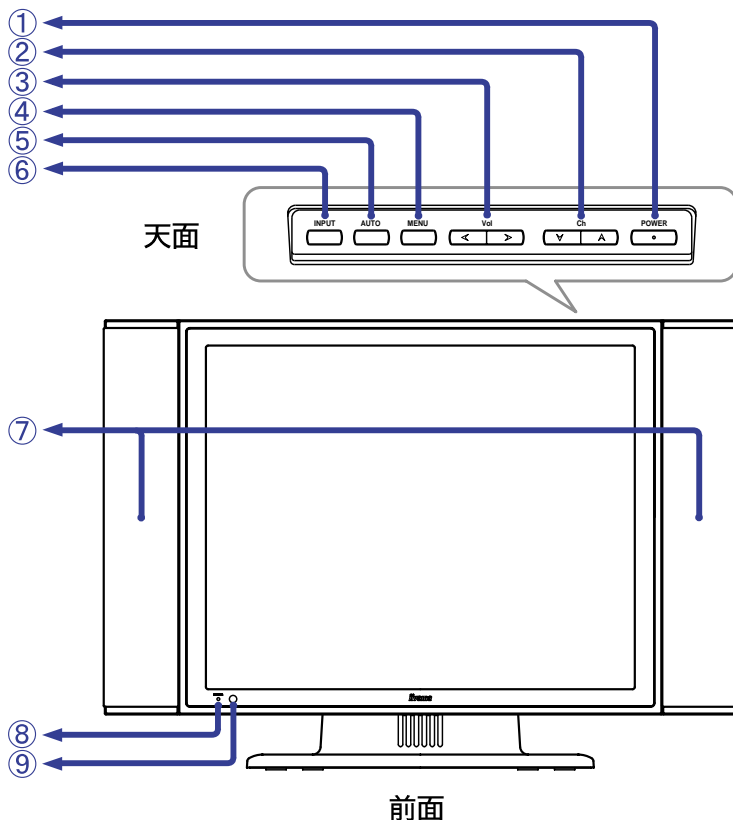
標準付属品

モニター本体の他に、下記のもの全てが含まれていることをご確認ください。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| ■ 電源コード ※ | ■ ACアダプタ ※ |
| ■ DVI-A信号ケーブル DV63 | ■ DVI-D信号ケーブル DV61 |
| ■ コンピュータ用オーディオケーブル AD21 | ■ アンテナアダプタ |
| ■ スピーカー×2 | ■ スピーカー取り付けネジ×4 |
| ■ リモコン RC-PLJ01 | ■ 単3形乾電池×2 |
| ■ 取扱説明書/保証書(本書) | ■ ユーザー登録のご案内 |

補足 ※必ず付属の電源コードとACアダプタを使用してください。これ以外のものを使用した場合、サポート及び保証の対象外となります。

各部のなまえ



天面

- ① POWERスイッチ (電源)
- ② Ch : チャンネル選局 (▼逆/▲順) ボタン
- ③ Vol : 音量調整 (<小/>大) ボタン
- ④ MENUボタン (メニュー)
- ⑤ AUTOボタン(自動調整)^{※1} / 「戻る」ボタン
画面にメニューページが表示されていないときに1秒以上押ししてください。水平位置, 垂直位置, クロック, フェーズの4項目が自動で調整されます。

補足 ■ この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。
(P.23 「画面の調整」 参照)

■ 調整中は画面が暗くなり、多少時間がかかります。

■ メニューページ表示中にこのボタンを押すと、画面の状態がひとつ前の状態に戻ります。

- ⑥ INPUTボタン (入力切換)

前面

前面

- ⑦ スピーカー
- ⑧ 電源インジケータ

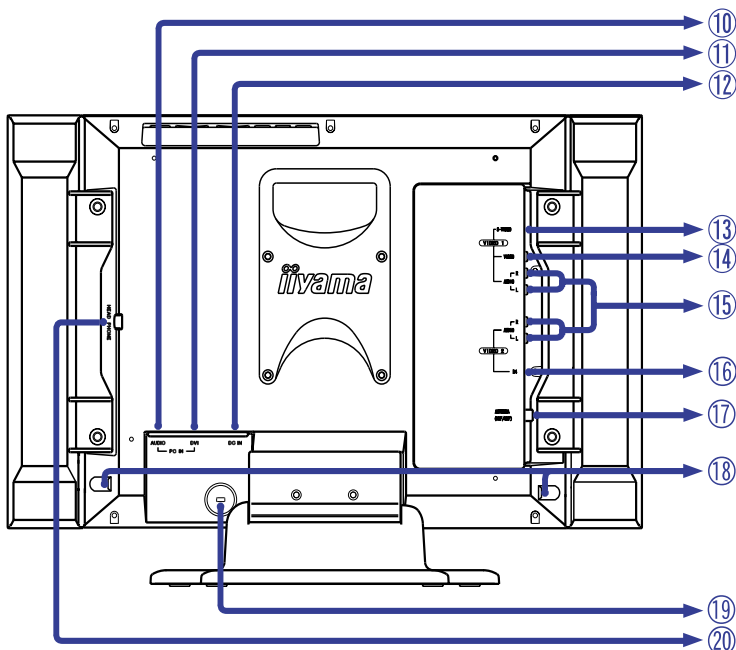
補足 青色点灯：通常動作時
 橙色点灯：パワーマネージメント時^{※2}
 水平同期信号, 垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネージメントモードになります。

- ⑨ リモコン受光部

※1 PCアナログ入力時

※2 PCアナログ/PCデジタル入力時

補足 ①, ②, ③, ④, ⑥についてはP.11～「基本の操作」、
 ⑤についてはP.10「⑩自動調整」を参照してください。



後面

後面

- ⑩ コンピュータ用音声入力端子 (AUDIO)
- ⑪ DVI-I29ピンコネクタ (DVI)
- ⑫ ACアダプタ接続コネクタ (DC IN)
- ⑬ S-ビデオ入力端子 (S-VIDEO)
- ⑭ ビデオ入力端子 (VIDEO)
- ⑮ ビデオ用音声入力コネクタ (AUDIO R/L)
- ⑯ D4映像入力端子 (D4)
- ⑰ アンテナアダプタ接続コネクタ (ANTENNA)
- ⑱ スピーカー端子
- ⑲ 盗難防止ロック用ホール

補足

■ 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

■ ロックの形状によりDVI信号ケーブルが接続しづらい場合は、まずDVI信号ケーブルを接続してから、ロックを取り付けてください。

- ⑳ ヘッドホン端子 (HEAD PHONE)

補足

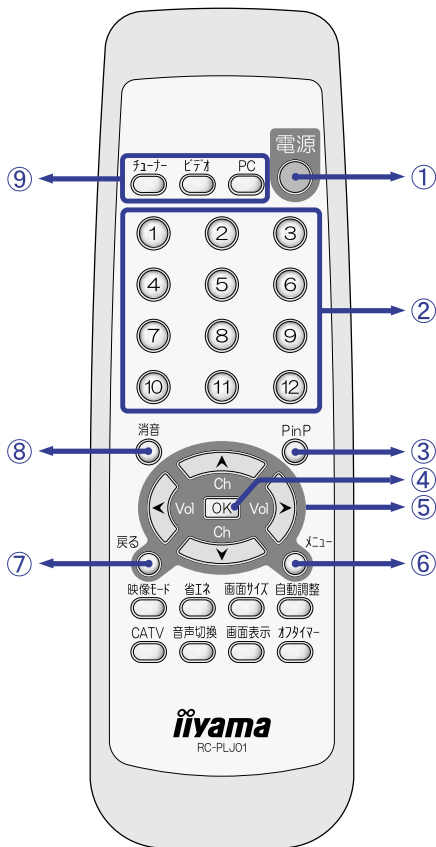
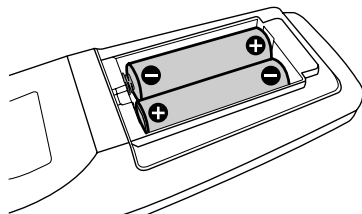
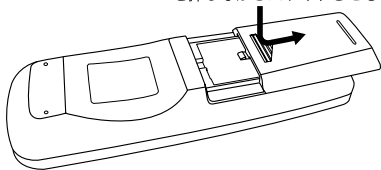
ヘッドホンはφ3.5mmミニプラグ品を使用してください。端子変換アダプタ等は、形状により使用できない場合があります。

リモコンについて

注意 リモコンに指定以外の電池や、新旧の電池を混ぜて使用しないでください。また、リモコンに電池を入れるときは、極性表示(プラスとマイナス)に従って正しく入れてください。電池が破裂したり液もれすることにより、火災やけが、周囲を汚損する原因となることがあります。

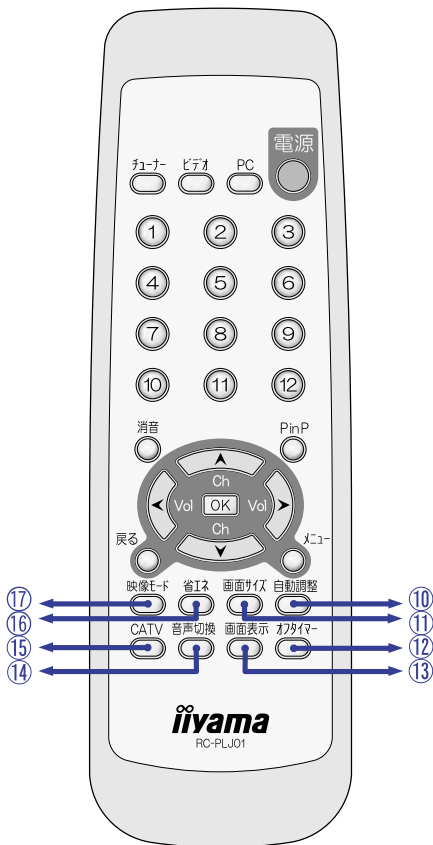
- 補足**
- リモコンをモニタの近くで操作しても動作しなくなったら、電池の交換時期です。新しい電池と交換してください。使用電池は単3形乾電池です。
 - リモコンはモニタ本体のリモコン受光部の正面から約3mの範囲内で、リモコン受光部に向けて操作してください。
 - 市販のリモコンは使用できません。必ず付属のリモコンをご使用ください。

ここを押しながらスライドさせる



- ① 電源
- ② テレビチャンネル
地上放送やケーブルテレビ放送を選局します。
- ③ P in P = ピクチャー・イン・ピクチャー
コンピュータ画像を大画面で映しながら、テレビ/DVD/ビデオなどの映像をサブ画面(小画面)に映すことができます。再度押すとオフになります。
補足 ■ 入力信号がPCの場合のみ有効です。
■ 調整メニューのフルスクリーンが「Off」のときは使用できません。
- ④ OK
カーソルで選択したメニュー項目や設定を決定します。
- ⑤ Ch : チャンネル選局 (▼逆/▲順)
Vol : 音量調整 (<小/>大)
- ⑥ メニュー
- ⑦ 戻る
メニュー画面を表示させているとき、画面の状態をひとつ前の状態に戻します。
- ⑧ 消音
音声を一時的に消します。再度押すと、もとの音量に戻ります。
- ⑨ チューナー/ビデオ/PC (入力切換)

補足 ①、⑤、⑥、⑨についてはP.11～「基本の操作」、③についてはP.21～22「PIP」を参照してください。



⑩ 自動調整

PCアナログ入力時、水平位置、垂直位置、クロック、フェーズの4項目を自動で調整します。

補足 メニュー画面を表示させていないときに押してください。

⑪ 画面サイズ

お好みの画面サイズを選択します。ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

■PC入力時：

→ 等倍表示 → 拡大表示

■チューナー／ビデオ入力時：

→ 拡大表示 → 4:3拡大表示 → 16:9表示

補足 入力信号がビデオ2の場合、信号720pまたは1080i選択時は16:9表示のみ有効です。

⑫ オフタイマー

チューナー／ビデオ入力時、電源を指定時間後に切りません。ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

→ 30分 → 60分 → 120分 → 0分(オフ)

⑬ 画面表示

次の情報を画面に表示します。

■PC入力時：入力信号タイミング

■チューナー入力時：チャンネル番号、音声設定

⑭ 音声切換

ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

■ステレオ放送受信時：

→ モノラル → ステレオ

■音声多重放送受信時：

→ メイン → サブ → メイン/サブ

⑮ CATV

ケーブルテレビ放送のチャンネル番号を入力して選局するときに使います。

まずCATVボタンを押し、次にテレビチャンネルボタンでチャンネル番号を入力します。

補足 ■ケーブルテレビの受信はサービスの行われている地域のみ可能です。

■ケーブルテレビを受信するときは、使用する機器ごとにケーブルテレビ会社との受信契約が必要です。

■本製品は、C13～C38の範囲でケーブルテレビチャンネルが選局できます。

補足 ⑩についてはP.7「⑤AUTOボタン」、⑪についてはP.20またはP.31「フルスクリーン」、⑬についてはP.20またはP.31「エコノミーモード」、⑭についてはP.31「映像モード」を参照してください。

⑯ 省エネ(エコノミーモード)

バックライトの明るさを切り換えてモニタの消費電力を抑えることができます。

ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

→ モード1 → モード2 → Off

補足 モード1またはモード2を選択しているときは、⑬画面表示ボタンを押すと「エコノミーモード」と表示されます。

⑰ 映像モード

チューナー／ビデオ入力時、お好みの映像を選択します。ボタンを押すたびに次のように切り換わります。

→ 標準 → 映画 → ゲーム → ユーザー

基本の操作

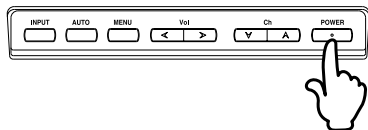
■ 電源を入れる

電源コードをコンセントに接続すると、電源コードを抜く直前の状態になります。

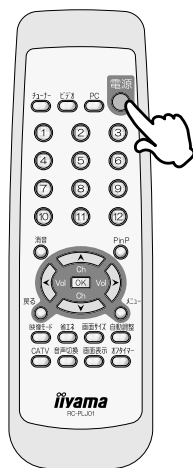
電源コードを抜く直前までモニタの電源がOFFだった場合：電源コードを接続してもOFFの状態のままなので、モニタ本体のPOWERスイッチまたはリモコンの電源ボタンを押してください。モニタの電源がONになり、電源インジケータが青色に変わります。

電源コードを抜く直前までモニタの電源がONだった場合：電源コードを接続するとモニタの電源が再びONになり、電源インジケータが青色に変わります。この状態でモニタ本体のPOWERスイッチまたはリモコンの電源ボタンを押すと、電源インジケータが消灯し、モニタの電源がOFFになります。

【モニタ本体】 POWERスイッチを押す。



【リモコン】 電源ボタンを押す。



補足 パワーマネージメントモード時やモニタの電源をOFFにした状態でもわずかに電力を消費しています。夜間や外出時などモニタを使用しないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いて、不要な電力消費を避けてください。

■ チャンネルを選ぶ、カーソルを上下に移動させる

画面にメニューページが表示されていないときにモニタ本体またはリモコンのCh:チャンネル選局(▼逆/▲順)ボタンを押すと、テレビチャンネルを選ぶことができます。*

画面にメニューページが表示されているときは、調整項目を選択します。

【モニタ本体】 Ch:チャンネル選局(▼逆/▲順)ボタンを押す。



* チューナー入力時

【リモコン】 Ch:チャンネル選局(▼逆/▲順)ボタンを押す。



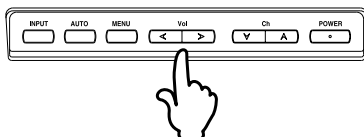
補足 選べるチャンネルは、調整メニューのチャンネル設定で「スキップ Off」に設定したチャンネルのみです。(P.33 「チャンネル設定」参照)

■ 音量を調整する、カーソルを左右に移動させる

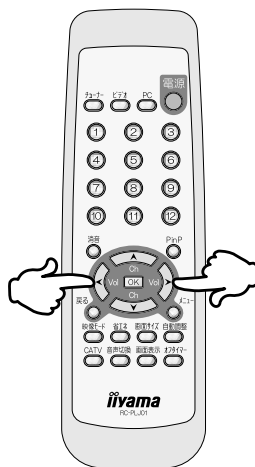
画面にメニューページが表示されていないときにモニター本体またはリモコンのVol:音量調整(<小/>大)ボタンを押すと、スピーカーの音量を調整することができます。

画面にメニューページが表示されているときは、メニューや設定を選択したり、調整を行います。

【モニター本体】 Vol:音量調整(<小/>大)ボタンを押す。



【リモコン】 Vol:音量調整(<小/>大)ボタンを押す。

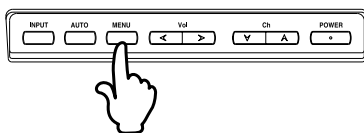


■ メニューページを表示させる

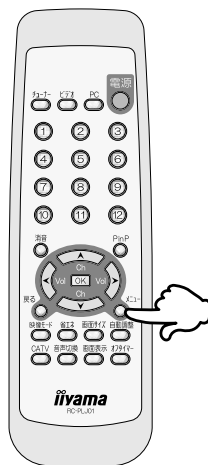
モニター本体のMENUボタンまたはリモコンのメニューボタンを押すと画面にメニューページが表示されます。

リモコンのメニューボタンを再度押すと、メニューページが消えます。

【モニター本体】 MENUボタンを押す。



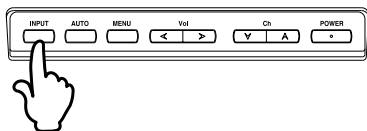
【リモコン】 メニューボタンを押す。



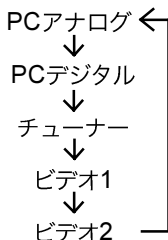
補足 モニター本体のMENUボタンは、カーソルで選択したメニュー項目や設定を決定するときにも使用します。

■ 入力信号を切り換える

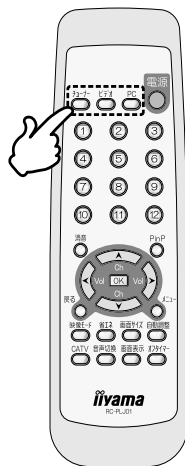
【モニタ本体】 INPUTボタンを押す。



ボタンを押すたびに次のように切り換わります。



【リモコン】 チューナー/ビデオ/PCボタンを押す。



- チューナーボタンを押すと、チューナー入力に切り換わります。
- ビデオボタンを押すと、ビデオ入力に切り換わります。
ボタンを押すたびに次のように切り換わります。 **⇒ビデオ1 → ビデオ2 ⇐**
- PCボタンを押すと、PC入力に切り換わります。
ボタンを押すたびに次のように切り換わります。 **⇒PCアナログ → PCデジタル ⇐**

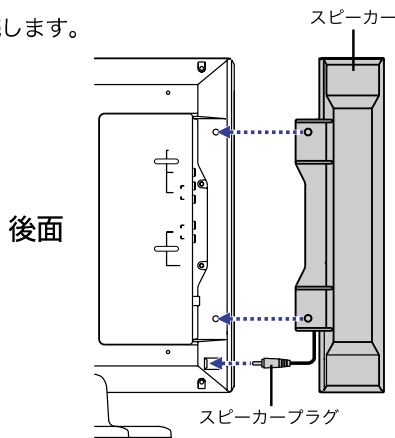
補足 モニタ本体のMENUボタンまたはリモコンのメニューボタンを1秒以上押すと、入力信号一覧が画面に表示されます。▼/▲ボタンで入力信号を切り換えることもできます。

スピーカーの取り付け

- 注意** ■ スピーカーの取り付けや取り外しをおこなう場合は、必ずモニタの電源コードをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。
- スピーカーの取り付けや取り外しは安定した台の上で行ってください。モニタやスピーカーが落下してケガや故障の原因となります。

- ① モニタおよび周辺機器の電源が「OFF」であることを確認します。
- ② モニタ後面のネジ穴(左右各2ヶ所)とスピーカーのネジ穴を合わせ、付属のスピーカー取り付けネジでスピーカーを固定します。
- ③ モニタ本体のスピーカー端子にスピーカープラグを接続します。

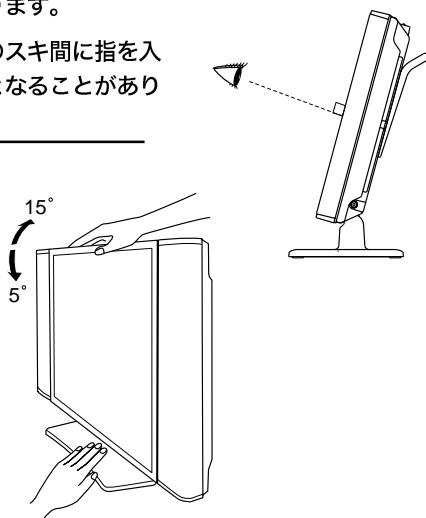
- 補足** ■ 2つのスピーカーは、モニタの左右どちら側にも取り付け可能です。
- 取り付けの際は、スピーカーから出ているリード線をあらかじめスピーカー本体のフックに引っ掛けて固定し、挟み込まないようにしてください。
- スピーカーを取り外す場合は、逆の手順で行ってください。



画面の角度調節

- 注意** ■ 角度調節の際、画面を押さないでください。表面パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。
- 角度調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。

- 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。
- 角度調節の際は、モニタが倒れないようにスタンド部を必ず押さえてください。
- 角度調節範囲は前方0°~5°、後方0°~15°です。
- 画面の角度は後方10°以内にとすると、目の疲れ等なく快適に使用することができます。傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。

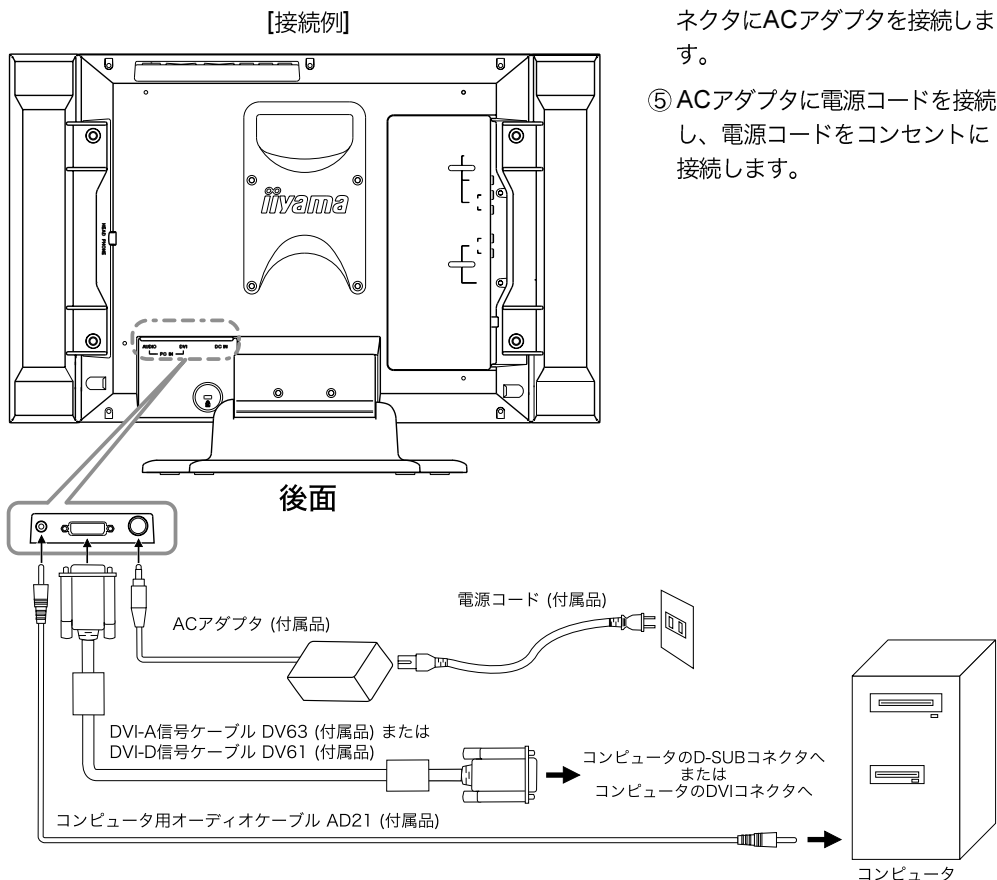


コンピュータとの接続

- ⚠ 注意** ■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニターやコンピュータの故障の原因となることがあります。
- 周辺機器への接続を行う場合は、モニターと周辺機器の電源プラグを必ずコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

接続手順

- ① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
- ② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.39「信号入力コネクタのピン配列」参照)
補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。
- ③ オーディオ機器を使用する場合は、コンピュータ用オーディオケーブルをモニターとオーディオ機器に接続します。



ケーブル、アダプタ等の品名を青色で記載しています。

接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニタ側
AT互換機 (DOS/V) IBM	D-SUB ミニ15ピン	DVI-A信号ケーブル ^{※2} DV63 (付属品)		DVI-I 29ピン
NEC PC98				
NEC PC98	D-SUB 15ピン	変換アダプタPC98 パーツNo.242Z020-01	DVI-A信号ケーブル ^{※2} DV63 (付属品)	
Macintosh ^{※1}	D-SUB 15ピン	変換アダプタMAC パーツNo.T985V003-30	DVI-A信号ケーブル ^{※2} DV63 (付属品)	
AT互換機 (DOS/V) IBM	DVI-D 24ピン または DVI-I 29ピン	DVI-D信号ケーブル ^{※3} DV61 (付属品)		
Macintosh				

補足 ※1 Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

※2 アナログ信号のみ対応可能なケーブルです。

※3 デジタル信号のみ対応可能なケーブルです。

コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度(P.39「対応信号タイミング」参照)に設定してください。

■ Windows 95/98/2000/Me/XP プラグ&プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC2Bに対応しています。DDC2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/2000/Me/XP上でプラグ&プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/2000/Me/XP モニタインフォメーションファイルが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

補足

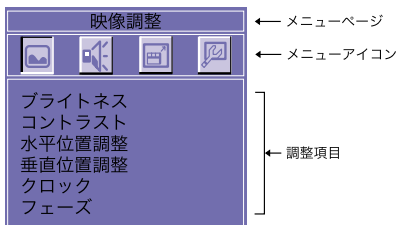
■ ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。

■ MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

画面操作手順

P.39の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従って、モニタ本体またはリモコンでボタン操作を行ってください。

- ① MENUボタン(モニタ本体)またはメニューボタン(リモコン)を押すと、画面にメニューページが表示されます。◀/▶ボタンでメニューページを送ります。



- ② 調整したい項目があるメニュー画面(ページ)を表示し、MENUボタン(モニタ本体)またはOKボタン(リモコン)を押します。カーソルが調整項目の列に移動するので、▼/▲ボタンで調整する項目を選択します。
- ③ 再びMENUボタン(モニタ本体)またはOKボタン(リモコン)押し、◀/▶ボタンを使って調整や設定を行います。
- ④ AUTOボタン(モニタ本体)または「戻る」ボタン(リモコン)を押すと、ひとつ前の画面に戻ることができます。

例えば垂直位置を調整したいときは、まず映像調整メニューのページを表示させ、MENUボタン(モニタ本体)またはOKボタン(リモコン)を押します。

次に▼/▲ボタンで「垂直位置調整」を選択し、MENUボタン(モニタ本体)またはOKボタン(リモコン)を押します。

調整画面が表示されますので、◀/▶ボタンでお好みの画面に調整します。



- 補足**
- 調整中にボタン操作を中止すると、数秒後にオンスクリーン表示が消えます。
 - オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を切らないでください。
 - クロック、フェーズ、画面位置の調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

調整メニューの内容

言語選択(Language)で日本語を選択した場合を黒色、英語を選択した場合を青色にて記載しています。入力信号の切り換えについては、P.13「入力信号を切り換える」を参照してください。

PCアナログ/PCデジタル入力時

調整項目	画面の状態 / 調整ボタン
映像調整 Picture Control	
ブライツネス※1 Brightness	暗すぎる  明るすぎる 
コントラスト Contrast	弱すぎる  強すぎる 
水平位置調整※2 H Position	<input type="checkbox"/> 左によっている  <input type="checkbox"/> 右によっている 
垂直位置調整※2 V Position	<input type="checkbox"/> 下によっている  <input type="checkbox"/> 上によっている 
クロック※2 Clock	模様、文字がにじんだりちらついている  
フェーズ※2 Phase	模様、文字がにじんだりちらついている  









※1 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、ブライツネスを調整してください。

※2 アナログ入力時のみ調整できます。

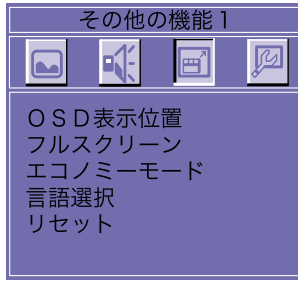
調整方法および手順については、P.23「画面の調整」を参照してください。

音声調整
Sound Control



調整項目		画面の状態 / 調整ボタン	
高音 Treble		弱すぎる	 
		強すぎる	 
低音 Bass		弱すぎる	 
		強すぎる	 
サラウンド Surround	Off	サラウンド効果をオフにします	
	On	音声がステレオのときに、臨場感のある音にします	

その他の機能1
Function 1

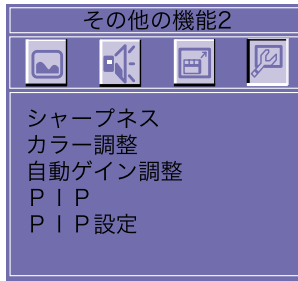





調整項目		画面の状態
OSD表示位置 OSD Position	左上	オンスクリーン表示を画面左上に配置します
	右上	オンスクリーン表示を画面右上に配置します
	中央	オンスクリーン表示を画面中央に配置します
	左下	オンスクリーン表示を画面左下に配置します
	右下	オンスクリーン表示を画面右下に配置します
フルスクリーン※3 Full Screen	Off	画面中央に入力信号と等倍の画像を表示します
	On	画面全体に画像を拡大表示します
補足 1280×1024未満の解像度での画面サイズを設定します。Onを選択した場合、画面拡大処理の関係上、表示される文字や線がぼやけて見えたり、縞模様などの信号を入力したとき、明るさが均一にならない場合があります。		
エコノミーモード※4 Economy Mode	モード1	バックライトの明るさ約20%ダウン
	モード2	バックライトの明るさ約40%ダウン
	Off	通常
言語選択 Language	English	英語表示
	日本語	日本語表示
リセット Reset	No	調整項目の列に戻ります
	Yes	工場出荷設定に戻します

※3 リモコンでの設定については、P.10 「⑪ 画面サイズ」を参照してください。

※4 リモコンでの設定については、P.10 「⑯ 省エネ」を参照してください。









その他の機能2
Function2



調整項目		画面の状態 / 調整ボタン
シャープネス Sharpness		1280×1024未満の解像度で、その他の機能1のフルスクリーンの設定をOnしているときの画質を調整します   
カラー調整※5 Color Control	モード1 (≒9300K)	やや青みがかったホホワイト (約9300K)
	モード2 (≒7500K)	やや黄色がかったホホワイト (約7500K)
	モード3 (≒6500K)	やや赤みがかったホホワイト (約6500K)
	ユーザー	赤調整 緑調整 青調整
自動ゲイン調整※6 Auto Balance	No	調整項目の列に戻ります
	Yes	R,G,B各色のゲインを最大の色階調になるよう自動的に調整します

補足

- この機能を正常に動作させるには、画面上に5cm四方以上の白い領域が必要です。
- 調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。(約5秒)
- ビデオカードの組み合わせ、表示解像度、表示パターンにより、画面が暗くなるなど正確に調整できない場合があります。そのような場合は、その他の機能1のリセットにより工場出荷設定に戻してご使用ください。

PIP※7 PIP ダイレクト	Off	PIP機能をオフにします
	On	PIP機能をオンにします
PIP設定※7 PIP Control	水平位置調整	サブ画面が左によっている   サブ画面が右によっている  
	垂直位置調整	サブ画面が下によっている   サブ画面が上によっている  
PIP サイズ	1	サブ画面のサイズを最小にします
	2	サブ画面のサイズを標準にします
	3	サブ画面のサイズを最大にします
入力 切り替え	TUNER	テレビの映像をサブ画面に映します
	VIDEO1	ビデオ/S-ビデオの映像をサブ画面に映します
	VIDEO2	D端子の映像をサブ画面に映します
音声 切り替え	Main	コンピュータの音声を出力します
	Sub	サブ画面の音声を出力します

- ※5 表示される色温度の数値は、おおよその目安です。
- ※6 アナログ入力時のみ調整できます。
- ※7 その他の機能1のフルスクリーンを「On」にしているときのみ有効です。
PIP=ピクチャー・イン・ピクチャー：
コンピュータ画像を大画面で映しながら、テレビ/DVD/ビデオなどの映像をサブ画面(小画面)に映すことができます。

ダイレクト

リモコンのP in Pボタンを押すと、メニュー画面を表示する手間を省き、直接PIP機能をオン/オフできます。リモコン操作については、P.9「③ P in P」を参照してください。

画面の調整

PCアナログ入力時は、必要に応じて画面を調整してご使用ください。

- 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
- 本製品に搭載されている液晶パネルは、1280×1024の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1280×1024未満の解像度では、拡大表示または画面中央での等倍表示となり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1280×1024の解像度でを使用することをおすすめします。
- 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
- コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
- 調整は、電源を「ON」して30分以上たってから行ってください。
- 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
- 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手で調整を行ってください。

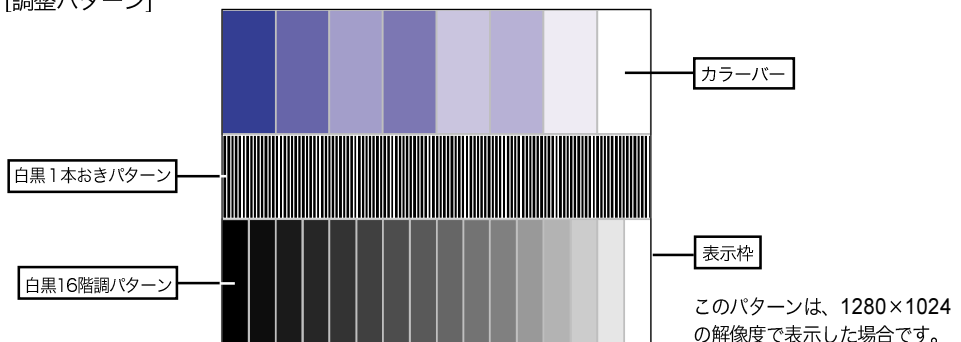
本製品には、画面の調整方法として位置、クロック、フェーズを自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、ポジションずれがある場合は手動で微調整を行います。

いずれも、弊社ホームページ(<http://www.iiyama.co.jp>)からサポートページへアクセスし、「画面調整プログラム」を起動して調整を行います。

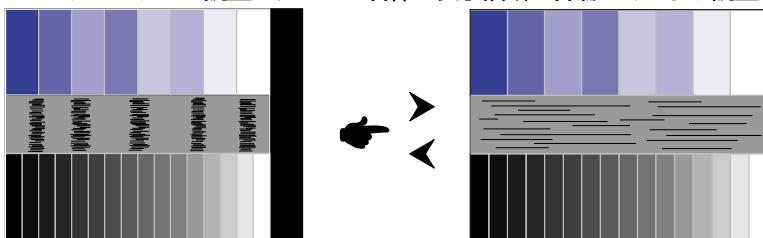
次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/2000/Me/XPを基準に説明しています。

- ① 調整メニューのフルスクリーンを「Off」にし、画面を等倍表示にしてください。
- ② 「画面調整プログラム」を起動します。
- ③ お使いのモニタの解像度を選択すると、調整パターンが表示されます。

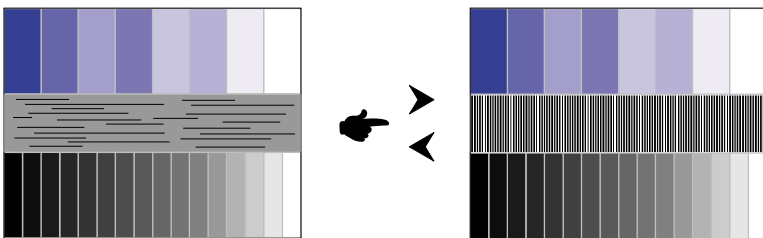
[調整パターン]



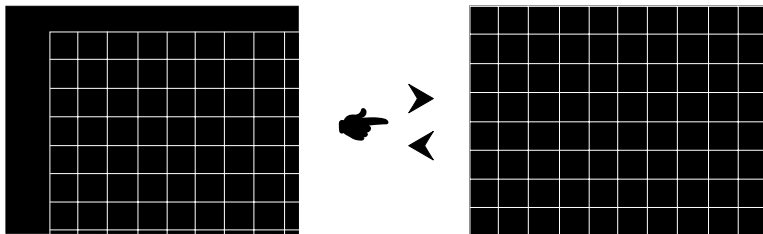
- ④ 画面にメニューページが表示されていないときに、AUTOボタンを1秒以上押します。(自動調整)
- ⑤ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、位置ずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。
- ⑥ 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。



- ⑦ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。



- ⑧ 画面調整プログラムの「位置」を選択し、調整メニューの水平位置、垂直位置にてクロスハッチパターンの上下左右枠が表示領域に入るよう調整します。



補足

- クロックを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、クロックと水平位置を交互に調整してください。
- クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。
- 水平位置、垂直位置、クロックを調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。
- クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、④からもう一度調整を行ってください。
- フェーズを調整しても画面の一部にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑥からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く(60Hz)設定し、④から調整を行ってください。
- フェーズを調整中、水平位置がずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平位置にて調整してください。

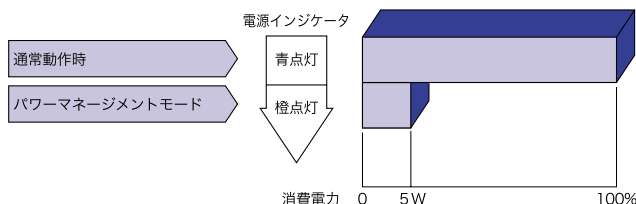
- ⑨ 最後に、画面調整プログラムの「明るさ」を選択し、調整メニューのブライトネス、コントラストにて、調整パターン下部の白黒16階調が見えるよう、目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節します。
「終了」をクリックしてプログラムを終了させてください。

パワーマネジメント機能

本製品のパワーマネジメント機能は、ENERGY STAR®, VESA DPMSそれぞれの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

■ パワーマネジメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネジメントモード（消費電力 5W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



- 補足**
- パワーマネジメントモードや電源を切った状態でもわずかに電力を消費しています。夜間や外出時などモニタを使用しないときは、必ず電源コードをコンセントから抜いて、不要な電力消費を避けてください。
 - 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネジメント機能が正常に動作しない場合があります。

その他の周辺機器との接続



注意

周辺機器への接続を行う場合は、モニターと周辺機器の電源プラグを必ずコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

補足

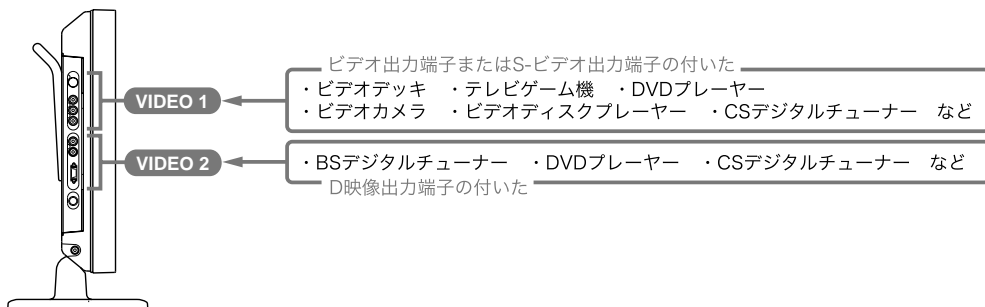
■ 周辺機器の取扱説明書も併せてお読みください。

■ 必要に応じて下記(市販品)をご用意ください。

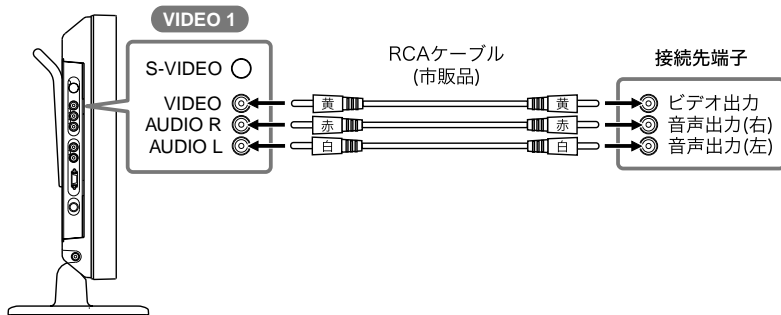
- ・ RCAケーブル
- ・ D端子ケーブル
- ・ S-ビデオケーブル
- ・ 同軸ケーブル
- ・ アンテナアダプタ
- ・ VHF/UHF混合器

AV機器(ビデオ・DVD・ゲーム機等)との接続

モニター側面



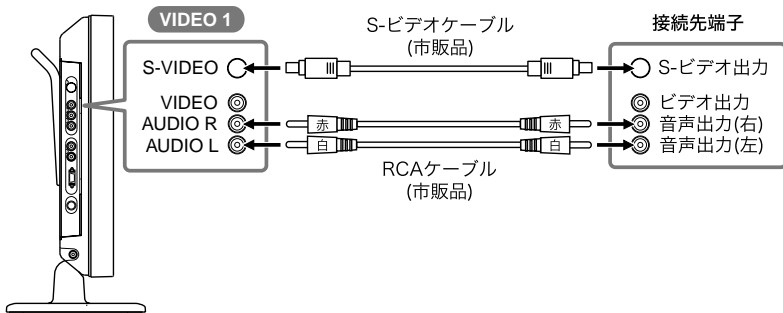
■ ビデオ出力端子の付いたAV機器との接続



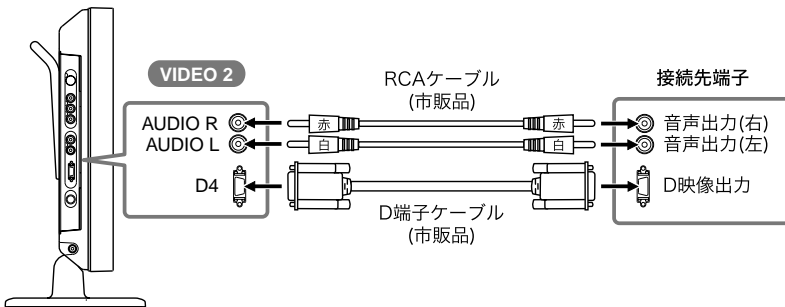
補足

ビデオとS-ビデオの両方に接続している場合は、S-ビデオ入力信号が優先されます。

■ S-ビデオ出力端子の付いたAV機器との接続



■ D映像出力端子の付いたAV機器との接続



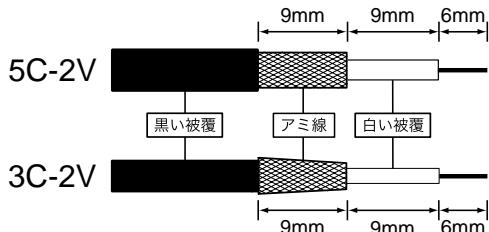
アンテナとの接続

⚠️ 注意 アンテナの設置には技術と経験が必要ですので、販売店にご相談ください。

- 補足**
- 付属品以外のアンテナアダプタを使用すると、形状により接続できない場合があります。
 - アンテナ線には、同軸ケーブルを使用してください。

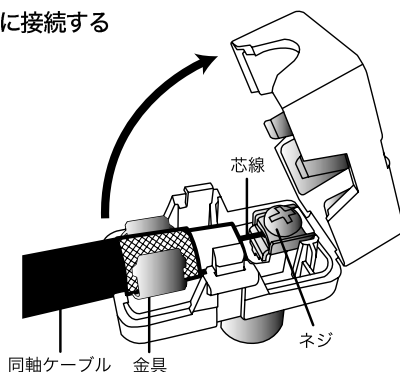
1. 同軸ケーブル(市販品)の先端を加工する

- ① 同軸ケーブルの黒い被覆を切り取ります。
- ② 同軸ケーブルが3C-2Vの場合のみ、アミ線を折り返します。
- ③ 白い被覆を切り取ります。

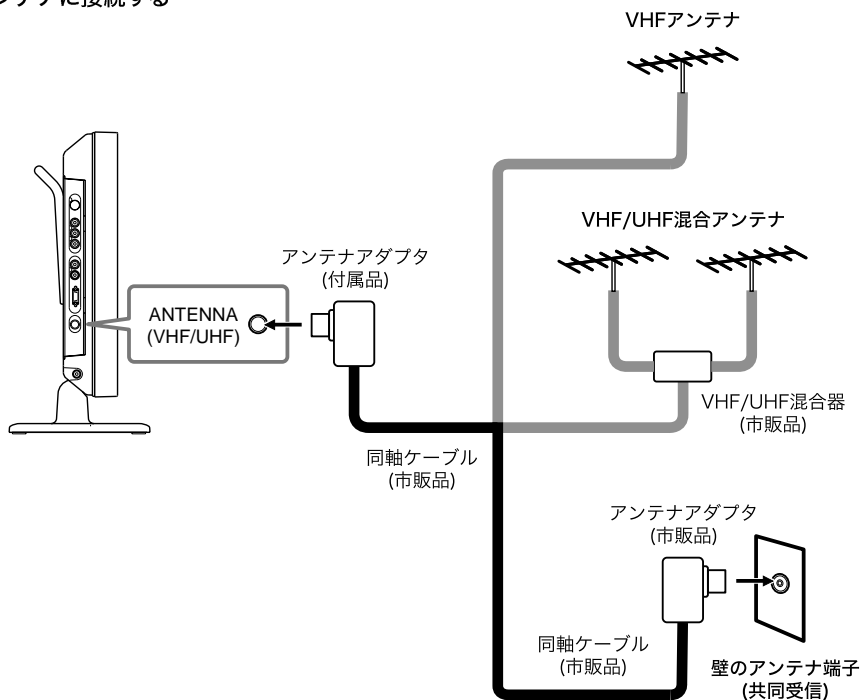


2. 同軸ケーブル(市販品)をアンテナアダプタ(付属品)に接続する

- ① アンテナアダプタのフタを開けます。
- ② ネジをゆるめてから同軸ケーブルの芯線を溝にはさみ、再びネジを締めます。
- ③ 同軸ケーブルを固定するため、両側の金具をペンチなどでしっかりと締めます。
- ④ アンテナアダプタのフタを閉めます。



3. アンテナに接続する



補足 本製品をテレビとしてご使用になる場合は、アンテナとの接続後、チャンネル設定を行ってください。(P.33「チャンネル設定」参照)

調整メニューの内容

言語選択(Language)で日本語を選択した場合を黒色、英語を選択した場合を青色にて記載しています。
 入力信号の切り換えについては、P.13「入力信号を切り換える」を参照してください。

チューナー/ビデオ1/ビデオ2入力時

映像調整 ^{※1} Picture Control (チューナー/ビデオ1/ ビデオ2入力)		
調整項目	画面の状態 / 調整ボタン	
明るさ ^{※2} Brightness	暗すぎる 明るすぎる	 
映像 ^{※2} Contrast	弱すぎる 強すぎる	 
画質 Sharpness	画質を調整します	
色の濃さ Color	色がうすい 色が濃い	 
色あい Tint	色が紫がかっている 色が緑がかっている	 

※1 映像調整メニューは、映像モードの設定を「ユーザー」にしているときのみ有効です。(P.10「⑰ 映像モード」またはP.31「映像モード」参照)

※2 ビデオ入力時のブライトネス/コントラスト調整は、自然な映像表示になるよう調整してください。

音声調整

Sound Control

(チューナー/ビデオ1/
ビデオ2入力)

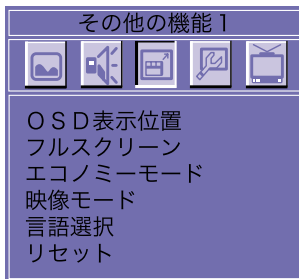


調整項目		画面の状態 / 調整ボタン	
高音 Treble		弱すぎる	
		強すぎる	
低音 Bass		弱すぎる	
		強すぎる	
サラウンド Surround	Off	サラウンド効果をオフにします	
	On	音声がステレオのときに、臨場感のある音にします	

その他の機能1

Function1

(チューナー／ビデオ1／
ビデオ2入力)



調整項目		画面の状態
OSD表示位置 OSD Position	左上	オンスクリーン表示を画面左上に配置します
	右上	オンスクリーン表示を画面右上に配置します
	中央	オンスクリーン表示を画面中央に配置します
	左下	オンスクリーン表示を画面左下に配置します
	右下	オンスクリーン表示を画面右下に配置します
フルスクリーン※2 Full Screen	モード1	画面全体に画像を拡大表示します
	モード2	画面縦横比を4：3で拡大表示します
	モード3	画面縦横比を16：9で表示します
補足 ■ モード1を選択した場合、左右が欠けた画像が表示されます。 ■ 入力信号がビデオ2の場合、信号720pまたは1080i選択時は16:9表示のみ有効です。		
エコノミーモード※3 Economy Mode	モード1	バックライトの明るさ約20%ダウン
	モード2	バックライトの明るさ約40%ダウン
	Off	通常
映像モード※4 Video Mode	標準	通常
	映画	映画などの暗い画像に適した設定にします
	ゲーム	ゲームに適した設定にします
	ユーザー	映像調整メニューで調整された状態で画像を表示します
言語選択 Language	English	英語表示
	日本語	日本語表示
リセット Reset	No	調整項目の列に戻ります
	Yes	工場出荷設定に戻します

※2 リモコンでの設定については、P.10「⑪ 画面サイズ」を参照してください。

※3 リモコンでの設定については、P.10「⑯ 省エネ」を参照してください。

※4 リモコンでの設定については、P.10「⑰ 映像モード」を参照してください。

標準、映画、ゲームを選択しているときは、映像調整メニューで画像を調整することはできません。

その他の機能2

Function2

(チューナー/ビデオ1/
ビデオ2入力)













調整項目		画面の状態
FILMモード Film Mode	Off	FILMモードをオフにします
	On	映画などのフィルム撮影された映像をガタつきの少ない自然な表示にします
輪郭強調 Enhancer	Off	輪郭強調機能をオフにします
	On	映像にメリハリをつけます
補足 映像によってはノイズが強調される場合があります。		
ノイズ低減 Noise Reducer	Off	ノイズ低減機能をオフにします
	On	ノイズを低減します
補足 映像によっては画面全体がぼやける場合があります。		

チャンネル設定は、チューナー入力時のみ有効です。

チャンネル設定 Channel Setup (チューナー入力)



調整項目		画面の状態 / 調整ボタン	
自動選局 Auto Tuning	No	調整項目の列に戻ります	
	Yes	受信可能なチャンネルを自動的に選局します	
補足 電波の状況により自動選局されないチャンネルがあります。また、チャンネルC13~C38は自動選局されません。			
マニュアル選局 Manual Setup	アンテナ / CATV	アンテナ	地上放送のチャンネルを選局します
		CATV	ケーブルテレビ放送のチャンネルを選局します
	リモコン番号	リモコンのテレビチャンネル番号 (1~12) を選びます	 
	補足 ケーブルテレビ放送の場合は設定できません。		
	受信チャンネル	選択したテレビチャンネル番号に割り当てる受信チャンネルを選択します	 
	スキップ On スキップ Off	手動で選局したチャンネルを Ch: チャンネル選局 (▼/▲) ボタンで切り換えるとき、そのチャンネルを映す (スキップ Off) か映さない (スキップ On) かを設定します。 MENU ボタン (モニタ本体) または OK ボタン (リモコン) で On / Off を切り換えます。	  または  
微調整	電波の状況により画像が乱れるときに、選択した受信チャンネルの周波数を微調整します	 	
決定	全設定内容を記憶させます		

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「画面操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。

症状

チェックポイント

- | | |
|----------------------------|---|
| ① 映像が出ない
(電源インジケータ点灯せず) | <input type="checkbox"/> ACアダプタのケーブルが確実に接続されていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 電源コードが確実に接続されていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> POWER(電源)スイッチが「ON」されていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 電源コンセントに電気がきていますか？別の機器で確認してください。 |
| (電源インジケータ青色) | <input type="checkbox"/> ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。 |
| | <input type="checkbox"/> 輝度およびコントラストが最小になっていませんか？ |
| | <input type="checkbox"/> コンピュータの電源は入っていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ |
| (電源インジケータ橙色) | <input type="checkbox"/> パワーマネジメント状態ではありませんか？マウスやキーボードを触ってみてください。 |
| | <input type="checkbox"/> 入力信号の選択は合っていますか？入力選択を切り替えてみてください。 |
| | <input type="checkbox"/> コンピュータの電源は入っていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> POWER(電源)スイッチが「ON」されていますか？ |
| ② 画面が乱れている | <input type="checkbox"/> 信号ケーブルが確実に接続されていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ |
| | <input type="checkbox"/> コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？ |
| ③ 画面の位置が片寄っている | <input type="checkbox"/> コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ |
| ④ 画面が明るすぎる／暗すぎる | <input type="checkbox"/> コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？ |
| ⑤ 画面が揺れる | <input type="checkbox"/> 電源電圧は正常ですか？タコ足配線はやめてください。 |
| | <input type="checkbox"/> コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？ |
| ⑥ リモコンが操作できない | <input type="checkbox"/> リモコンの電池が消耗していませんか？ |
| | <input type="checkbox"/> リモコンの電池の向きは正しいですか？ |
| | <input type="checkbox"/> 蛍光灯などの強い光がリモコン受光部に当たっていませんか？ |
| | <input type="checkbox"/> リモコンとリモコン受光部の間に障害物はありませんか？ |

症状

チェックポイント

- ⑦ ビデオ映像が出ない
ゲーム画面が出ない
- ⑧ テレビ映像が出ない
- ⑨ テレビ映像に斑点や縞が出る
- ⑩ テレビ映像が二重になる
- ⑪ 音が出ない
- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- 接続先AV機器の電源は入っていますか？
- アンテナ線が確実に接続されていますか？
- 自動車・電車・ネオン・コンピュータなどからの妨害電波を受けていませんか？ アンテナをできるだけ道路やネオンなどから離して設置してください。アンテナ線はコンピュータから離してください。
- 近くに山や大きな建物がある場合、反射電波の影響が考えられます。アンテナの向きや高さを変えてみてください。
- スピーカープラグが確実に接続されていますか？
- ヘッドホンが接続されていませんか？ ヘッドホンを外してください。
- 音量が最小になっていませんか？ 音量調整ボタンで調節してください。
- 消音になっていませんか？ リモコンの消音ボタンを押してみてください。

クリーニング

警告 ■ 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマササービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

注意 ■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

- 補足** ■ パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。
- キャビネットやパネル表面を痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

- キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

パネル表面 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

アフターサービス

保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期限は本体お買い上げ日より3年間です。ただし、中古販売の製品については3年間の保証は適用されません。
また、液晶パネルおよび光源のバックライトの保証期限は1年間です。ただし、1年の保証期間内であっても輝度の低下や焼き付き等による経年劣化の場合は、保証の対象にはなりません。

修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイーヤマサービスセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターにご相談ください。

オプション部品

- オプション部品をご注文の際にはP. 16の表に記載されている品名とパーツNo.で、販売店にご注文ください。

リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- リサイクル／廃棄については、イーヤマサポートセンターへお問い合わせください。

付録

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

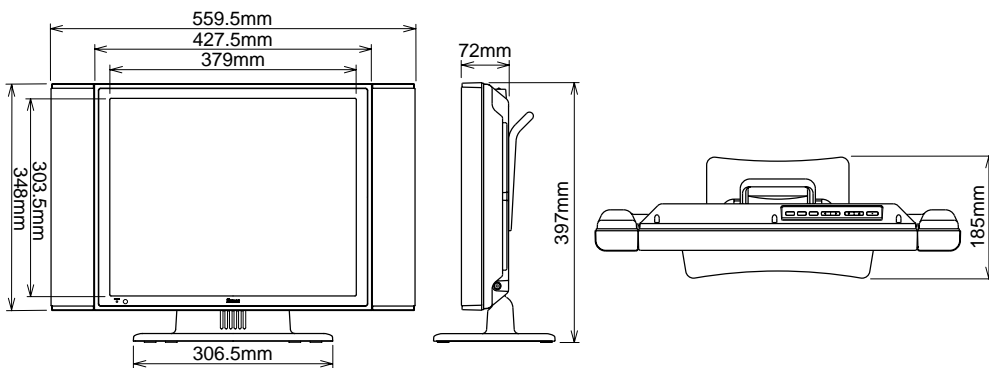
一般仕様

液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角：48cm/19.0"
	画素ピッチ	水平 0.294mm×垂直 0.294mm
	輝度	430cd/m ² (標準)
	コントラスト比	600 : 1 (標準)
	視野角	上下左右各85°
	応答速度	25ms (黒→白→黒)
最大表示色	16,777,216色	
走査周波数	水平：24.0～80.0kHz 垂直：56～75Hz	
ドットクロック	135MHz(最大)	
解像度	1280×1024(最大) 1.3メガピクセル	
映像入力コネクタ	DVI-I 29ピンコネクタ RCAピンジャック(ビデオ) S映像端子 D4映像端子	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC2B™対応	
入力同期信号	セパレート同期： TTL, 正極性/負極性 コンポジット同期： TTL, 正極性/負極性	
入力映像信号	アナログ：0.7Vp-p(標準), 75Ω, 正極性 デジタル：DVI(デジタルビジュアルインターフェイス規格 Rev.1.0)準拠	
ビデオ信号方式※1	NTSC, D4	
テレビ信号方式	NTSC-M	
アンテナ入力	VHF/UHF, 75Ω, 不平衡	
受信チャンネル	VHF：1～12, UHF：13～62, CATV：C13～C38	
音声入力コネクタ	φ3.5mm ステレオミニジャック RCAピンジャックR/L×2	
入力音声信号	0.5Vrms(最大)	
スピーカー	5W×2(ステレオ)	
ヘッドホン端子	φ3.5mm ステレオミニジャック	
最大表示範囲	水平：376.3mm 垂直：301.0mm	
入力電源	付属ACアダプタ：AC100～240V 50/60Hz 1.3～0.6A (出力DC19.5V 4.1A) モニタ本体：DC19.5V 3.8A	
消費電力	74W(最大) パワーマネージメントモード時 5W(最大)※2	
外形寸法, 重量	559.5 (幅)×397 (高)×185 (奥行) mm, 8.9kg (スピーカー装着時)	
角度調節範囲	前方0°～5° 後方0°～15°	

環境条件	動作時の温度：	5~35°C
	保管時の温度：	-20~60°C
	湿度(-20~50°C未満時)：	20~85% (結露なきこと)
	湿度(50~60°C時)：	20~55% (結露なきこと)
適合規格	VCCIクラスB	

- 補足** ※1 一部対応していない方式もあります。
 ※2 アンテナ/AV機器未接続時。

外形寸法図



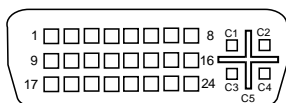
ビデオモード		水平周波数	垂直周波数	ドットクロック
VESA	VGA 640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz
		37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz
		37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz
	SVGA 800×600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz
		37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz
		48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz
		46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz
	XGA 1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz
		56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz
		60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz
SXGA	1152×864	67.500kHz	75.000Hz	108.000MHz ※2
	1280×1024 ※1	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz
		79.976kHz	75.025Hz	135.000MHz ※2
VGA TEXT	720×400	31.469kHz	70.087Hz	28.322MHz ※2
Macintosh	640×480	35.000kHz	66.667Hz	30.240MHz ※2
	832×624	49.725kHz	74.500Hz	57.283MHz ※2
	1024×768	60.150kHz	74.720Hz	80.000MHz ※2
PC9801	640×400	24.827kHz	56.424Hz	21.053MHz ※2
SUN66	1152×900	61.846kHz	66.004Hz	94.500MHz ※2

補足 ※1 1280×1024未満の解像度で、調整メニューのフルスクリーンの設定を「On」にすると、上下方向に間のびした画像になります。

※2 DVIに対応していません。

信号入力コネクタのピン配列

■ DVI-I 29ピンコネクタ



DVI-I

PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	T.M.D.S Data2-	16	Hot Plug Detect
2	T.M.D.S Data2+	17	T.M.D.S Data0-
3	T.M.D.S Data2/4接地	18	T.M.D.S Data0+
4	T.M.D.S Data4-	19	T.M.D.S Data0/5接地
5	T.M.D.S Data4+	20	T.M.D.S Data5-
6	クロックライン(SCL)*	21	T.M.D.S Data5+
7	データライン(SDA)*	22	T.M.D.S Clock接地
8	アナログ垂直同期	23	T.M.D.S Clock+
9	T.M.D.S Data1-	24	T.M.D.S Clock-
10	T.M.D.S Data1+	C1	アナログ赤
11	T.M.D.S Data1/3接地	C2	アナログ緑
12	T.M.D.S Data3-	C3	アナログ青
13	T.M.D.S Data3+	C4	アナログ水平同期
14	+5V Power	C5	アナログ接地
15	接地		

*VESA DDC 規格に準拠

〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイーヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。
尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - (1) 保証書をご提示されないとき。
 - (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
 - (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
 - (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



植物性大豆油インキを使用しています